

6月



## あの日のあの川 リレー日記 ～第74話～



あの日のあの川  
リレーDiary

みなさんはどの川でどんなことをした記憶がありますか？ 幼少期や青春時代に体験した川での記憶を日記として掘り起こして語るコーナーです。リレー形式で毎回次の人にバトンをつなぎます。

### 第74話主人公 曽根颯大

(筑波大学大学院 システム情報学研究科 構造エネルギー工学専攻 白川(直)研究室『川と人』ゼミ)

(□川ガール・■川系男子)

(出身地を流れる川：埼玉県 元荒川、綾瀬川)

### 「荒川ライン下り」

いつのこと？：小学生

どの川？：荒川(埼玉県秩父市長瀬町)

白川研究室所属の曽根颯大です。幼稚園小学生時代の私は近所の川辺などでよく虫捕りや魚釣りなどよく川遊びをしていていましたが、今回は埼玉県秩父市長瀬町の荒川ライン下りに行ったときの思い出を語ろうと思います。

実家の越谷から片道2時間近くをかけ、家族祖父母とともに埼玉県秩父市への日帰り旅行で荒川ライン下りを体験してきました。“荒川ライン下り”は和舟に乗って荒川の3kmほどを船頭の方が櫓をこぎガイドを聞きながら下っていきます。国の特別天然記念物に指定された「岩畳」や急流スポットである「小滝の瀬」などの美しい自然が楽しめます。また春には桜、秋には紅葉、夏には新緑の景色と四季折々の自然を体験できます。細かい感想は覚えていませんが、小学生時代の私は、「楽しかった、また行きたい」と思っていた記憶があります。その日は行きませんでした。ライン下りの他にも荒川の川辺でキャンプやバーベキュー、カヌーやラフティング、フィッシングエリアなど、近くに自然を満喫できる観光場所があるそうです。

あれから十年ほどが経ち、小学生時代は虫捕りなどをして川で遊んでいた私ですが、今では研究として川や自然、災害と向き合い、異なる関わり方をしています。大学の授業などを通してこの分野に興味を持ち、小学生時代の思い出とは関係なく今の研究室を選んだので川には不思議な縁を感じます。

荒川ライン下りに小学生の頃は遊園地のアトラクションのような楽しさを感じていましたが、日常から離れて自然に癒されるために体験したいと感じるようになりました。今日は6月、これから段々と夏の暑さが厳しくなっていきます。暑い日に川の涼しい風を浴び、夏の緑の美しさや滝や急流、岩畳などの川の自然を体験し癒されに行くのもいいかもしれません。

(次は宮下さんにバトンを託します)